

成功事例 | 退職者が、近所の飲食店と地域をつなぐ

1/2

消費の一部を地域店舗へ移し、地域の売上と所得をつくる参加者へ



紹介者の目線

- ① 近所の飲食店を利用
- ② 元同僚・知人・近所へ紹介
- ③ 契約・送客成果から紹介収入
→ 地域の核＋年金以外の所得

地域循環の成功ポイント

消費の一部を地域店舗へ
退職者が地域のつなぎ役に
紹介収入を地域で再消費

被紹介店舗の目線

- ① 地域住民との接点が増える
- ② AIで集客・再来店を支援
- ③ 売上が雇用・仕入れ等へ
→ 地域に残る所得を増やす

1,000人の選択で、年間4.8億円の消費先を地域へ

2/2

1人あたり月4万円×1,000人＝月4,000万円→年間4.8億円（イメージ）

地域店舗 → Blockshine AI → 売上 → 紹介収入 → 地域内で再消費

1人
月4万円

× 1,000人

月4,000万円

年間4.8億円

紹介者の成果

地域店舗を利用・紹介
店舗契約・送客成果から収入
所得を地域で再消費
→ 年金＋継続的な所得源

地域全体の成果

地域店舗へ追加消費
売上・雇用・紹介収入を創出
次の消費・紹介へ循環

被紹介店舗の成果

AIで集客・再来店を支援
地域住民の来店・購入が増える
売上を地域の雇用・仕入れへ
→ 地域に残る所得を増やす

※4.8億円すべてが地域所得になるわけではありません。仕入・家賃・税等の域外流出を差し引いた一部が地域内で循環します。